

少団連シンボルマーク



少団連だより

編集発行：船橋市少年少女団体連絡協議会 事務局：船橋市教育委員会青少年課内 〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 TEL 047-436-2902

船橋市少年少女団体連絡協議会

会長 入江 娃津子



第45回を迎えた、船橋市少年少女交歓大会のはじまりを少しお話ししましょう。それを思い出すと自然に笑い出したくなります。と申しますのは、大人の指導者は真剣に自分達の子も時代を思い出しながら考えに考えたのです。子ども達と会うのは、毎日自然に大勢が集まって遊ぶ、そんな分業を動かして遊ぶ、そんな分業はもう過去のものなのでしようか、いいえそれではつまらない大人になってしまふ。そこで、私達は年齢の違う集団の中で、社会性を身につける事も出来る、かつての子ども社会を少しでも復活させ、集団の外遊びの効果や快感に近いものを考えたのです。

この様な事を考えるのは、本当に良い仲間達でした。それは、海の事は海洋さん、陸遊びはボーイズさん、ガールさん、ワンピースの子も達の事なら子ども会さんと、当時の私は子ども会からの知恵を出させていただいた、あたかも自分達

達が子どもになって考え出したので、人間の智慧と力と遊びは、いつも変わらない様に思えます。これからは子ども達のために船橋市少年少女団体連絡協議会が取り組むべきことをお話しします。

話が変わりますが、船橋市・津田町青少年交流事業は、24年目を迎える今年度は北海道津別町から子ども達が来ました。ホームステイからはじまり一宮少年自然の家で交流を深めました。その中で感じた事は、子ども達は何でも責任を持たせれば出来る、と云う事でした。それは、子どもあつかいをしていた高校生にリーダーをお願いしてみたいところを、彼等がみごと、キャンプファイヤーをやりとげたのです。彼等の生長に本当に嬉しさを感じたのは私だけだったのでしようか。時代は確実に変わって居りますが、少団連の本質は変わりません。永い時間を経ての活動に関係されました、諸団体の皆様、そして、青少年課の皆様、心より御礼を申し上げます。

説明会の時に行けなかった、知らない子と初めてあいました。けれど一日目ですぐ仲良くなって良かったです。一日目はみんな夜間走行に行きました。室井美波ちゃんを手をつないで行きました。美波ちゃんも如菜も一回行った事があったので、「こわくないよね」と話していただけ、少しくわて虫が出たらみんな「キヤー」と言いながら行きました。その後みんまで歌をうたったり、ぜんぜんこわなかった良最初からうたっていた良、二日目はアンデルセン公園に行つて遊びました。すつと楽しくなりました。夜のキャンプファイヤーでは、

船橋市子ども会育成連絡会

7月の法典地区キャンプに参加して

小4 中村 妃菜



みんな「マルモリ」をおどりました。その後「アルプス」もやって、とても楽しかったです。三日目は、荷物を整理してから、お昼を食べて、お母さん達といっしょにカレーを食べました。三日間とっても楽しかったです。

船橋北部リトルリーグ

目指すは全日本選手権

ぼくは、船橋北部リトルリーグの主将をやらせていただいています。ぼくは、1年生の春からこのリトルリーグに入つて約五年半のリトルリーグ生活を送っています。

リトルリーグは、マイナーとメジャーというチームに分かれています。マイナーは3年生と4年生、メジャーは5年生と6年生です。そのぼく達メジャーが目指しているのは、全日本選手権です。マイナーでは全日本選手権

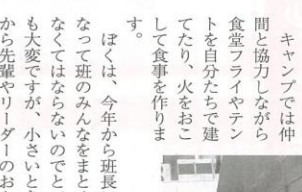
日本ボーイスカウト船橋地区

班長として

中2 遠藤 貴大



ぼくは小学1年生からボーイスカウトで活動しています。毎年行っている歳末助け合い募金では、市民のみなさんに募金を呼び掛けています。東日本大震災の時は一年間募金活動を続けました。



公民館で実施しているもちつき大会は友達や地域の子どもたちと一緒に、お雑煮やからみもちなどをおいしく食べながら交流できる楽しいひと時です。



キャンプでは仲間と協力しながら食堂フライヤテンを自分たちで建てたり、火をおこして食事を作ります。

という大会はありません。ゆいゆいメジャーだけ、それも夏にしかありません。ぼく達は夏のむけて毎週辛い練習に励んでいます。どんどんチーム力や技術が上がついて、まずは人数がたりません。



もしも、野球がやりたいという子がいるのなら、一度見に来て下さい。一緒に船橋北部をあげましょう。





だるま落とし



大会宣言



よさこいソーラン

第45回 船橋市少年少女交歓大会

みんなで手をつなごう☆

あつまれ!!みんなのフェスティバル

平成24年
5月13日(日)
船橋市運動公園
・体育館



モンキーブリッジに挑戦



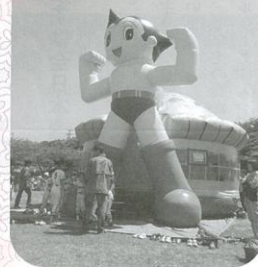
はしご車体験



ポニーに乗って!



法田中吹奏楽部によるマーチング



鉄腕アトムの方フワ

ぼくは、津別町ホワイトスクールで12月24日に、北海道津別町に行きました。まずバスでペンションに行き友達と雪合戦などで遊んだ後、津別町の子ども達と交流をして雪や氷を使った遊びをしました。氷の柱にしがみつくとゲームは、一秒で落ちてしまいました。途中で、寒くてリタイヤしましたが、リタイヤするまでの



ホワイトスクールに参加して
小6 谷津直樹

船橋・津別青少年交流協会

遊びが楽しかったです。次の日はノーザンアークリゾートに行きスキーをしました。スキースクールで、だんだん慣れてくるトリフトで上まで行き、すべて下りてくる事が出来る様になり、最初は恐かったけれどもうまくすべれてとても楽しかったです。スキーは楽しかったです。スキーは楽しいです。その夜は、ホテルの温泉に入りとても気持ち良かったです。アイスパビリオンや旭山動物園など冬の北海道ならではの所に行き、思い出に残る冬休みを過ごしました。



私は3年生の時、高郷スターズに入団しました。チームには女子が一人しかいないのでとても不安でしたが、父と毎日素振りもしました。試合に出ることがとても楽しくて、野球が上手になることがとてもうれしかったです。6年生になると、キャプテンに選ばれました。春季大会では、みんなと力を合わせて、優勝できました。女子選抜にも選ばれました。女子選抜は、野球が大好きです！

私は3年生の時、高郷スターズに入団しました。チームには女子が一人しかいないのでとても不安でしたが、父と毎日素振りもしました。試合に出ることがとても楽しくて、野球が上手になることがとてもうれしかったです。6年生になると、キャプテンに選ばれました。春季大会では、みんなと力を合わせて、優勝できました。女子選抜にも選ばれました。女子選抜は、野球が大好きです！

船橋市野球協会少年学童部

野球と私

小6 前田衣里奈



ガールスカウト船橋市連絡会

「体験の風をおこそう・たのしいデー キャンプ」に参加して

10月28日、大神保キャンプ場でガールスカウト船橋市連絡会は「体験の風をおこそう・たのしいデーキャンプ」を開催しました。この活動は「子どもめ基金助成」を受け市内の小1、



6までの子どもたちを対象に、スカウト技術（ロープ・救急法・測定法・自然観察・マッチで火をおこすなど）を取り入れたブースを回る、ポイントラリー形式で行われました。

小5 金子 玲緒奈



私が中でも一番印象に残ったのは「自然観察」で作った「みの虫」です。毛糸を使って作りました。本物の「みの虫」を見ることができました。プログラムがたくさんあり充実した一日でした。

小5 大野 菜月



私が体験して楽しかったのは「測定法」でした。木と木の間に張ってあるロープの長さを、5メートルロープを使って測ります。最初は5メートル単位で測ることができましたが、最後に余った部分をいかに工夫して測るかが大変でした。このイベントに参加してどのように工夫すればよいか楽しく学べたのはよかったです。

船橋海洋少年団

優勝した関東地区大会

小6 濱津 玲香

夏休みに1泊2日で神奈川県川崎三浦で行われた海洋少年団の関東地区大会に行きました。駅から大会会場までの長い道ではみんな暑い中がんばって歩いて行きました。一日目は「手旗競技」で無意味50文字と意味50文字の合計100文字受信でしたが、とてもむずかしく満点をとることができました。

私が体験して楽しかったのは「測定法」でした。木と木の間に張ってあるロープの長さを、5メートルロープを使って測ります。最初は5メートル単位で測ることができましたが、最後に余った部分をいかに工夫して測るかが大変でした。このイベントに参加してどのように工夫すればよいか楽しく学べたのはよかったです。

キドキしながら待ちました。「手旗競技」では船橋団は呼ばれず残念でしたが、まだ「結さく競技」があるとのことの中で思いました。次々他の団が呼ばれ、さんちよう感が強くなってきました。そして1位の発表になり船橋団が呼ばれました。大会前の合宿でみんな一生けんめい練習したので、私はすごくうれしい気持ちでいっぱいでした。賞状が私が代表してもらいに行き、もどつてから全員でよろこびました。選手以外の団員も隊長たちもみんなとてもうれしそうでした。

船橋リトルリーグ

リトルは兄弟のような絆

小6 村木 健太

僕がリトルリーグに入団したのは、2年生の冬でした。友達とプロ野球の試合を見に行きたくも野球をしたいと思ったからでした。まず、マイナー時代から多くのリトル生活が始まりました。マイナーの時は一つもタイトルを取ることが出来ませんでした。けれど、いい監督やコーチに教えて

そして最後には全国大会へ連れて行ってもらいました。14人に入れてもらった監督に感謝しています。3位という成績を納める事が出来ました。今年はみんなが兄弟みたくに一つの鎖のようにつながり、世界に行きたいです。将来プロ野球選手に成りたいです。

船橋交通少年団

少年少女交歓大会に参加して

小3 竹内 美姫

私は今年初めて船橋市少年少女交歓大会に行きました。たくさんの人でにぎわっていました。たくさんのお店やゲーム、体力測定などいろいろなお店やゲームなどくらべて、多くの人がならんでいて、みんな楽しそうでした。長



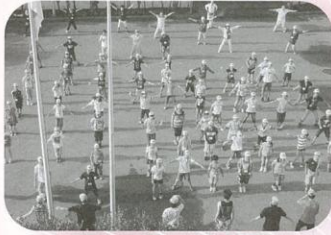
入団・入会をお待ちしておいます

少団	連構成団体	入会要件・問い合わせ先	少団	連構成団体	入会要件・問い合わせ先
船橋市子ども会育成連絡会	市内各単位子ども会との連絡調整を図るとともに、ジュニアリーダーの育成を目的としています。	●就学前3年の幼児～高校生 ●成人及び指導者 462-3331 黒坂	ガールスカウト船橋市連絡会	少女と女性が、自然や仲間と交わる様々な活動を通じて、ゆたかに生きる力を育てます。	●幼稚園年長～高校生年代の少女 ●18才以上の女性（指導者） 463-2194 宮崎
日本ボーイスカウト船橋地区	私たちは、個人の資質をのびし、社会と世界に役立つ青少年を育てています。	●幼稚園年長組～大学生年代 ●育成者・指導者 地区事務局 437-5222 月・水・土 10:00～13:00	船橋海洋少年団	広い海を訓練の場とし、水泳・手旗信号・カッター操縦やヨットにて航海訓練などを行います。	●小学校1年～高校生までの健康な男女 飯山満町2-508 千葉病院 466-2176 林兵衛
船橋北部リトルリーグ	竹の中の野球場に集まれ、野球少年！静かな環境の中で、おもいっきり硬式野球をやってみませんか。	●小学校1年～6年生（男女） 457-3973 黒川	船橋リトルリーグ	野球が大好きな小学生みんなおいで！世界大会をめざそう！	●小学校1年～6年生（男女） 449-8854 吉田
船橋市野球協会少年学童部	市内の軟式野球クラブで組織する団体です。代表となったチームは、県大会や全国大会でも活躍しています。	●小学校1年～6年生（男女） 449-3375 藤田	船橋交通少年団	当団は、交通安全思想の啓蒙のため、情熱ある青少年と指導者を求む。	●小学生～高校生（男女） 438-8187 入江
船橋・津別青少年交流協会	冬、津別の子ども達との交流はホワイトスキー、今年度も34名で津別へ、次は皆さんも！	●幼児～中学生（男女） ●高校生以上（指導者） 464-2456 小川			

お気軽にお問合せ下さい

船橋市・津別町青少年交流団

歓迎会



みんなで朝のラジオ体操



平成24年8月4日(土)～8日(水)

船橋市・津別町
青少年交流事業

2012

Funabashi・Tsubetsu

Exchange Program
Since 1989



さあ ザリガニをたくさん釣ろう!!



キャンプファイヤー点火



真剣にグループ会議

平成元年から始まった船橋市と津別町(北海道)の子ども達との交流事業です。本年度は、津別町の子ども達が船橋市を訪問。ホームステイの家族との交流や一宮少年自然の家でのキャンプファイヤーなどたくさんの体験をし、交流を深めました。



キャンプファイヤーで
人間知恵の輪に挑戦!!



キャンプファイヤーの打ち合わせ

津別町のお友だちとのお別れ式 また会おうね!

午後、国立オリンピック

変参考になりました。

午後、国立オリンピック

も自己研鑽が必要である。

少 団 連 研 修 会

12月1日(土)少団連研修会を開催しました。

ク記念青少年総合センターで開催された、国立青少年教育振興機構主催の「社会

青少年教育は、より良い社会を作ることに繋がるといふ、私達青少年団体には、力強い励ましを頂いた有意義な講義でした。



私には、ざりがりに釣るやキャンプファイヤーなど、普段あまりやらない事などもやることができ、とても興奮しました。

この交流会を通して、私は、人と人との関わってみたいということがこんなにも楽しいということがよく分かり、そしてとても面白かったという2つの理由から、また来年もできたら参加してみようかと思いましたが、みなさんありがとうございました!!!

交流会で学んだ事

私は、今回の交流会で同じ部屋制の人達は勿論、沢山の友達をつくって帰ってくる事ができました。船橋の友達とも、津別の友達とも、仲良く親しくすることができました。

シワールドやデイズニランドもこれまで行った時より、10倍100倍も楽しく思えました。それもきっと仲良くなった友達と一緒にいるからだと思います。

のために、自分の事は自身でやらなくてはいけない事を感じて、今までのように全部お母さんにまかせるのではなく、自分ができることはできる範囲で積極的に取り組んでいこうと心に決めました。

小5 布川 かのん

船橋市・津別町青少年交流事業参加者感想文

